



今年は、6月11日に九州北部地方が梅雨入りしました。梅雨入りしてから、毎日じめじめしたうとうしい天気が続きます。しかし、梅雨があるおかげで、水不足がなくなり、夏を迎えることができます。また、この時期に雨が降ることにより、私達の周りの自然はうるおい、やがて実りの秋につながります。先日植え付けをしたイモ畑もその一つです。通学路にも、きれいな色のアジサイの花があちらこちらで咲き始めました。季節の移り変わりを自分の『目』で、『足』で確かめながら「雨ニモマケズ」「梅雨の、マスクの蒸し暑さニモマケズ」がんばる南っ子です。



6月の環境月間、身近な環境づくりの一環として学校下のロータリーやプランターにマリーゴールドやサルビアなどの花苗500本を全校児童で植え付けしました。色鮮やかな花が校区に彩りを添えています。併せて、昨夏、緑の少年団サポートーの皆さんに準備してもらった

ツバキさし木を34年生が鉢に移植しました。さらに成長する苗木は来年2月、6年生が『ツバキ100年の森』に卒業記念植樹の予定です。サポートーの皆さんには、地域から学校への協力のためにと、いろんな木々の育て方について独自に学習会をされています。(16日)子ども達のために、ありがとうございます。



梅雨入り前の10日、3~6年生でプール掃除を行いました。6年生は翌日も熱心に仕上げをしてくれました。おかげさまで、とてもきれいになりました。きれいになったプールで気持ちよく学習できそうです。水泳指導でも、接触等の活動を避けながら、安全第一に実施していきます。



なかよし集会を前に、各学級担任による『個人面談』が始まりました。友達や学習のこと、悩みや困ったことはないか、一人ひとりのつぶやきに耳を傾けていきます。何か子どもさんのことで気になることがあれば、いつでもお知らせください。

水泳学習の始まりを前に、講話をしました。内容は、「息を止める」と「口をむすぶこと」の違いについてです。プールに入ったつもりで息を止め、その時間を計りました。「1分20秒」が最高記録でした。一方、口をむすぶことは、全員「2分」も楽々クリアできました。そこで、「15分間の掃除も無言ができるといいね…」といった内容です。粘り強く繰り返し指導中です。無言で行動や集合ができる廊下を走らない。当たり前のことを見たり前にできる「学級」「子ども」が増えることを期待しています。

